

市民図書館からのお知らせ

「本の七夕飾り」を飾ります 無料

市民図書館(J:COM ホルトホール大分 2階)中央カウンター前に、バンブーツリーを設置します。短冊に「お薦めの本」を記入し、飾ってください。
設置期間: 7月1日(月)~ 8月2日(金)
※7月8日(月)・22日(月)は休館日



調べ学習講座 無料

小学1年生対象
日時: 7月27日(土) 午前10時~正午
定員: 10人(先着順・保護者同伴)

小学2・3年生対象(全2回)
日時: 7月20日(土)、8月17日(土) 午前10時~正午
定員: 15人(先着順)
●場所: 市民図書館2階会議室
●申込み: 電話で、7月1日(月)から市民図書館へ。

市民図書館 ☎576-8241

このコーナーでは、市民図書館が所蔵している新刊を紹介しします。

図書館だより



個性ってなんだろ? LGBTの本

中塚 幹也:監 あかね書房

自分の体や性について迷ったり、悩んだりしたことはありませんか。LGBTという言葉を知ることがあるかもしれませんが、この本ではLGBTの言葉の意味や性の多様性について知ることができるとともに、自分の周りの人の個性を受け入れていく過程がとらわれています。

銭湯図解

塩谷 歩波:著 中央公論新社

大分県といえば温泉が有名ですが、銭湯に行ったことはありますか。この本には、銭湯の魅力がたくさん詰まっています。銭湯の入り方から、建築的な面白さや銭湯でのコミュニティまで多様で幅広く書かれています。銭湯の魅力を再発見してみませんか。



人権・同和教育シリーズ 487

人の生き方を考える



誰かが…?

先日、娘と買い物に出かけた時のことです。その日は、立体駐車場に車を止めるのにもかなり時間がかかるとほど混んでいました。

エレベーターを待っていました。エレベーターを待つことができました。そして、やっと乗ることができました。エレベーターはなぜか2階で止まったのです。「2階までなら歩いていけばいいのに」という思いに

なりましたが、誰も降りません。不思議に思っていました。外を見ると、女性がたくさんいました。いっぱい乗れるはずがありません。よく見ると女性ばかりにマタニティマークを付けていました。「そうか。歩くのはきついんだろな。誰か降りてあげればいいのに」と思っていました。すると、娘が「降りよう」とわ

たしの手を引っ張り、前の人をおかき分けながら降りたのです。そして、女性に「どうぞ乗ってください」と声を掛けると、女性は笑顔で「あり

がとう」と言い、乗りました。娘と階段を上りながら、なぜエレベーターを降りようと思ったのか、尋ねました。娘は「お父さん、マタニティマークに気付いた? あの人、一人だけ一人じゃないんだよね」と言いました。そして、「わたし、小学生の時に妊婦擬似体験をしたことがあるんだ。その時、靴下を履くことさえ大変だったし、階段を上り下りするのもとても怖かったのを覚えてるわ。あの時から、わたしに何かできることがあるれば、とずっと思っていて…。今日みたいに混んでいる日は、1階から乗らないと乗れないでしょう。わたしたちが歩けば、あの人が乗れる、それなら降りればいいって思ったの」と続けたのです。

わたしの知らない間にいろんなことを学んで成長している娘を頼もしく感じました。そして、きついんだろなと気付いていたのに、「誰かが…」と行って行動できなかった自分が恥ずかしくなりました。

さまざまな体験をすることは、相手の思いを自分のこととして感じる想像力を育みます。そして、「誰かが…」の中には「わたしが」も含まれていると気付くことが、想像力を生かすことにつながっていくのです。

2019 人権フォトコンテスト 作品募集

インターネットの普及により、わたしたちの生活は便利になりました。一方で、コミュニケーション不足などにより、人と人とのつながりが薄れつつあるとも言われています。

インターネットで笑顔になったり不安を感じた瞬間や、どんなに便利な世の中になっても忘れてはいけない「人と人とのつながり」など、人権の大切さを感じる場面を一枚の写真にしてみませんか。



2018人権フォトコンテスト入選作品『未来へ。』
撮影者: 江口 翔太さん

テーマ 手のひらから変わる世界

~インターネットがもたらしたもの~

例えば… ●インターネット(以下: ネット)があったよかったです瞬間 ●ネットはこわいと感じた瞬間 ●ネットでは体験できない人とのつながり ●ネット社会になって変化した光景 ●ネット社会の中で忘れてはいけないこと ●便利になった一方、疑問を感じる場面 ●普段会えない人とつながった瞬間 ●次世代へ語り継ぎたい光景 ●人と人との絆の大切さ ●人権が守られていないと感じる場面

賞および賞金

- 最優秀賞 1点 賞状・賞金(5万円)
- 優秀賞 5点 賞状・賞金(3万円)
- 優良賞 10点 賞状・賞金(1万5,000円)
- 佳作 10点 賞状・賞金(5,000円)

※中学生以下の人の賞金は金額相当の賞品とします。

応募資格

市内に居住または通勤、通学しているアマチュアの人
※応募規定がありますので、市ホームページをご覧ください。

募集期間

6月17日(月)~9月30日(月)〈必着〉

募集規格

2L判またはキャビネ判。白黒、カラーいずれでも可。
※組み写真は不可。また、未発表作品で1人3点までです。

応募方法

人権・同和対策課(第2庁舎4階)、人権・同和教育課(第2庁舎4階)、本庁舎1階案内所、各支所、各連絡所、各地区公民館、人権啓発センター(ヒューレおおいた)〈J:COMホルトホール大分1階〉、旭町文化センターに備え付けの応募票(市ホームページでダウンロードも可)または自製の用紙に、作品の題名・説明、人権メッセージ(120文字程度)、撮影年月、氏名、住所、電話番号、在学中の場合は学校名・学年を記入のうえ、作品の裏面に貼付して、直接または郵送で、人権・同和対策課(〒870-8504 荷揚町2-31)へ。

その他

- 入選作品の著作権は市に帰属し、入選作品および人権メッセージは市の人権啓発事業などに活用します。応募作品は返却しません。
- 入選者には11月上旬に通知します。また、市ホームページにも掲載します。

市民図書館 ☎537-5618

第33回 愛犬・愛猫との写真コンテスト 作品募集



テーマ 犬または猫と人とのふれあい

賞

- 金・銀・銅賞 各1点 賞状 ●佳作 3点 賞状

応募資格

市内に居住する人

募集期間

6月17日(月)~8月16日(金)〈消印有効〉



第32回 愛犬・愛猫との写真コンテスト 金賞
撮影者: 廣田 康弘さん

募集規格

四つ切りサイズまで。白黒、カラーいずれでも可。
※未発表作品で、人と犬または猫と一緒に写っているもの、1人1点。

応募方法

写真の裏面に住所、氏名、電話番号、撮影年月日、犬または猫の名前(犬の場合は登録番号)を記入し、直接または郵送で、市動物愛護センター(〒870-1201 大字廻栖野3231-47)へ。

その他

- 入選作品の著作権は市に帰属し、各種イベント会場での展示や印刷物などに使用します。応募作品は返却しません。
- 入選者は、秋に開催予定の動物愛護イベントで行われる表彰式(日時は後日連絡)への出席をお願いします。
- 写真にまつわる思い出やエピソードがあれば短いコメントを添付してください。

市動物愛護センター ☎588-2200